



## 山口県内の経済情勢

令和4年1月25日

財務省中国財務局  
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先  
財務省中国財務局山口財務事務所  
財務課長 工藤

TEL (083) 922-2190(代)

HP 掲載先 :

[http://chugoku.mof.go.jp/  
yamaguchi/index.htm](http://chugoku.mof.go.jp/yamaguchi/index.htm)




山口財務事務所の  
ホームページ

## 1. 総論

### 【総括判断】

**「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している」**









項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

### （判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある。

### 【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	
生産活動	サプライチェーンの問題により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある	
設備投資	3年度は前年度を上回る見込み	3年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大	「上昇」超に転じる	
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

### 【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる」

ドラッグストア販売では、内食・中食需要により飲食料品などが堅調なことから、前年を上回っている。一方で、ホームセンター販売や家電大型専門店販売では、巣ごもり需要の一服感から、日用消耗品やパソコンなどが低調なほか、コンビニエンスストア販売や百貨店・スーパー販売では、客足の戻りが弱いことから、衛生用品や衣料品などが低調となっており、前年を下回っている。また、乗用車販売では、半導体不足の影響による納期の遅延は解消されてきているものの、前年を下回っている。このように、個人消費は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べて家飲み需要が拡大しているため、お酒やおつまみなどの食料品全般が堅調となっている。(ドラッグストア)
- 前年に新型コロナウイルス感染症の影響で特需となっていたマスクや除菌シートなどの売上が足下では落ち着いており、全体の売上も例年並みの水準となっている。(ホームセンター)
- 前年は巣ごもり需要に関連した商品の売上が好調であったが、今年は需要に一服感がみられている。(家電大型専門店)
- 全体として客足は回復傾向にあるものの、主要客であるシニア層の戻りが弱く、婦人服などの売上が伸び悩んでいる。(百貨店)
- メーカーの生産調整による影響で新車の入荷の遅延が続いているものの、足下では徐々に解消されてきており、受注も例年並みに取れていることから、売上が回復してきている。(自動車販売店)
- 10月以降、各種施策の効果もあって旅行需要が回復し、客足が戻りつつあったが、足下の感染再拡大の影響で個人客、団体客ともに宿泊予約のキャンセルが相次いでおり、平日の臨時休館を検討している。(宿泊)

### ■ 生産活動 「持ち直している」

窯業・土石は、セメントで、国内向けの需要に弱さがみられるものの、海外向けの需要が堅調であることから、おおむね横ばいとなっている。鉄鋼は、一部の需要に弱さがみられるものの、産業用機械向けなどの需要が引き続き堅調であることから、おおむね横ばいとなっている。輸送機械は、自動車で、半導体不足などの影響が緩和されてきており、足下では増加している。化学は、樹脂原料などの需要が堅調であることから、増加している。このように、生産活動は、全体では、持ち直している。

- 国内向けは都市部の再開発向けなどの需要が堅調であるが、国内全体でみれば需要は低迷しており、出荷が減少している。需要が堅調である海外向けの出荷を増やすことで、出荷量を維持している。(窯業・土石)
- 半導体などの部品不足の影響で自動車向けなどの出荷が減っているが、引き続き、産業用機械や半導体製造装置向けなどの用途向けの需要が堅調となっているため、生産量を維持している。(鉄鋼)
- 半導体などの部品不足の影響は徐々に緩和されてきており、足下では稼働率が上昇しているため、生産量が増加している。(輸送機械)
- 海外の旺盛な需要を背景に、インフラ向けの樹脂原料など幅広い製品の需要が堅調となっており、今後もフル生産が続く見込みである。(化学)

### ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある」

有効求人倍率が上昇しているほか、新規求人数も増加するなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある。

- コロナ禍で退職があり、従業員が減った中で客足が回復してきているため、一人ひとりの業務量が増え、人手不足感が増している。(飲食サービス)
- 業績好調を受けて人手不足になっており、従業員の採用人数を増やしたり、残業対応を行っている。(情報通信機械)

■ 設備投資 「3年度は前年度を上回る見込み」

- 製造業では、石油・石炭などで減少するものの、窯業・土石、情報通信機械などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、金融・保険などで増加するものの、小売、鉱業・採石などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 前年度は新型コロナウイルス感染症の影響による利益減少を受けて、一部の設備投資を控えていたため、その反動で増加する見込みである。(窯業・土石)
- 電気自動車などに使用される電子部品の需要が旺盛となっており、生産能力の増強投資を行っている。(情報通信機械)
- 前年度は店舗作業の集約化や効率化のために食品加工工場を新設したことから、その反動で減少する見込みである。(小売)

■ 企業収益 「3年度は増益見込み」

- 製造業では、化学などで減益となるものの、石油・石炭、情報通信機械などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便などで増益となるものの、小売、建設などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じる」

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、持家などが増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

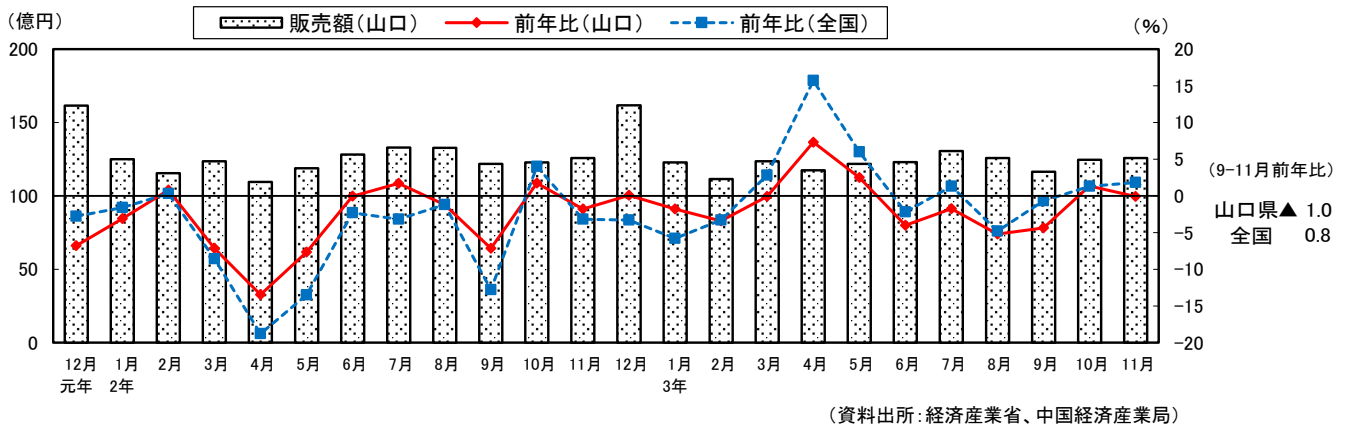
- 県内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、化学製品、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中南米などで増加している。  
なお、輸入は、原油及び粗油、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東、大洋州などで増加している。

# 資料編

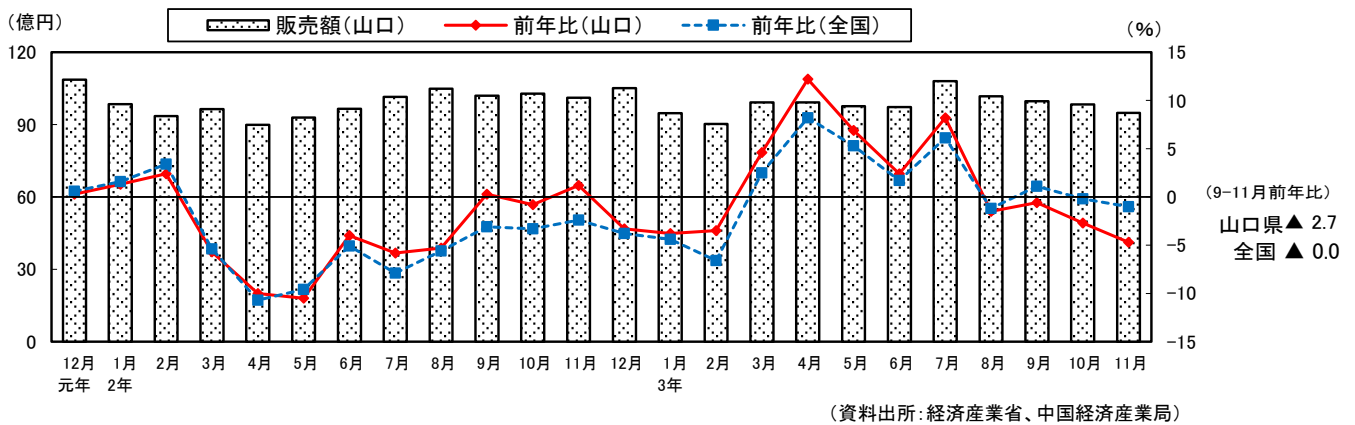
目次	ページ
1. 個人消費 .....	1～2
2. 生産活動 .....	3
3. 雇用情勢 .....	4
4. 設備投資 .....	5
5. 企業収益 .....	6
6. 企業の景況感 .....	6
7. 住宅建設 .....	6
8. 輸 出 .....	7

# 1. 個人消費 新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる

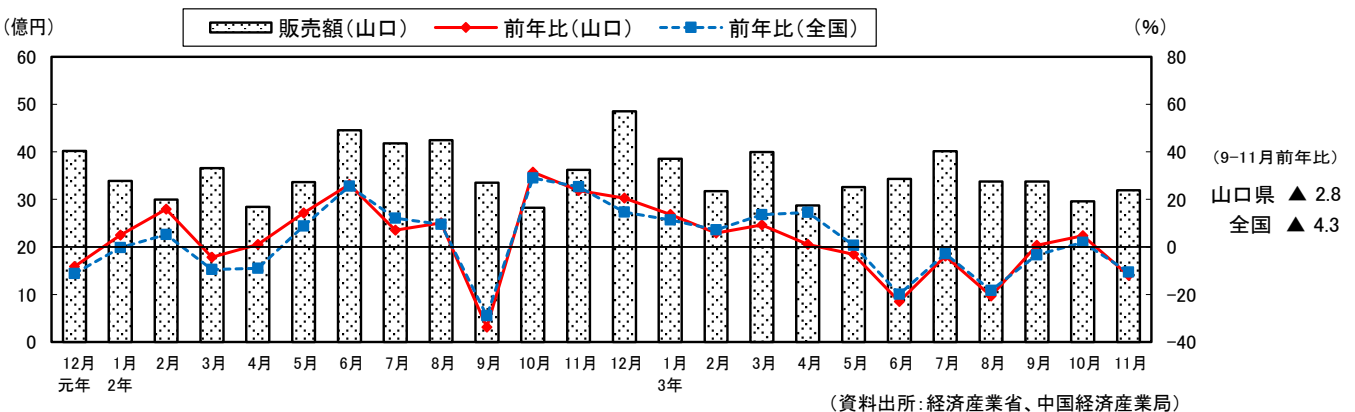
## (1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)



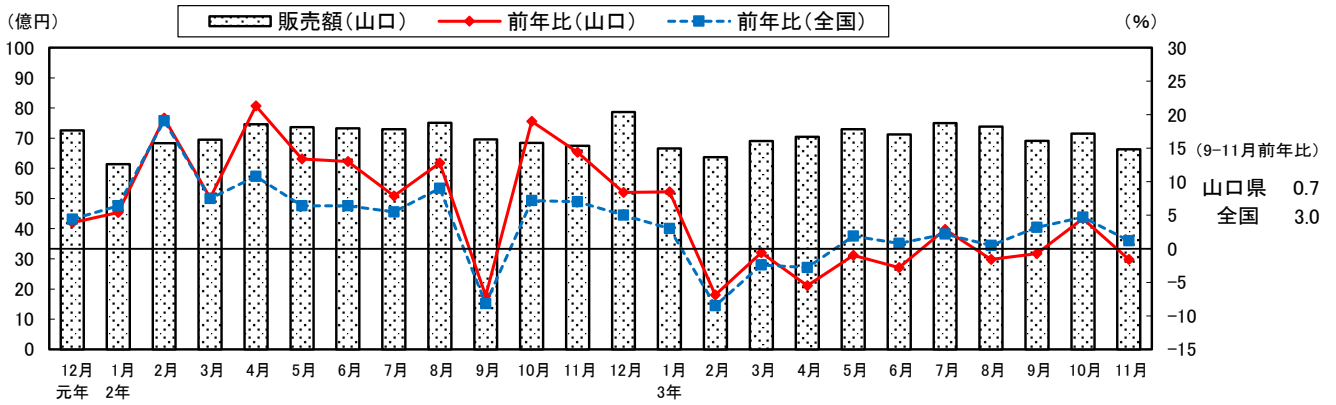
## (2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



## (3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

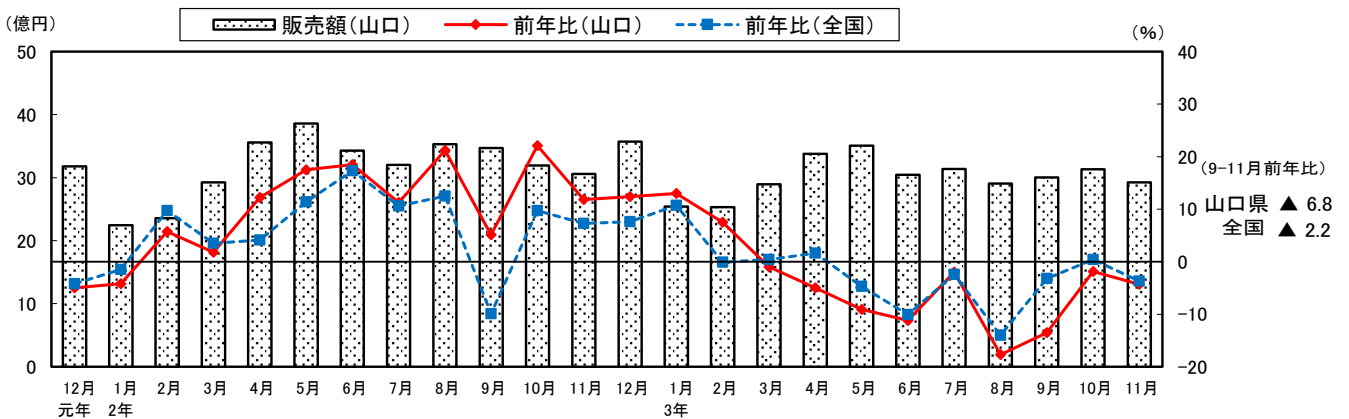


#### (4) ドラッグストア販売額(全店舗)



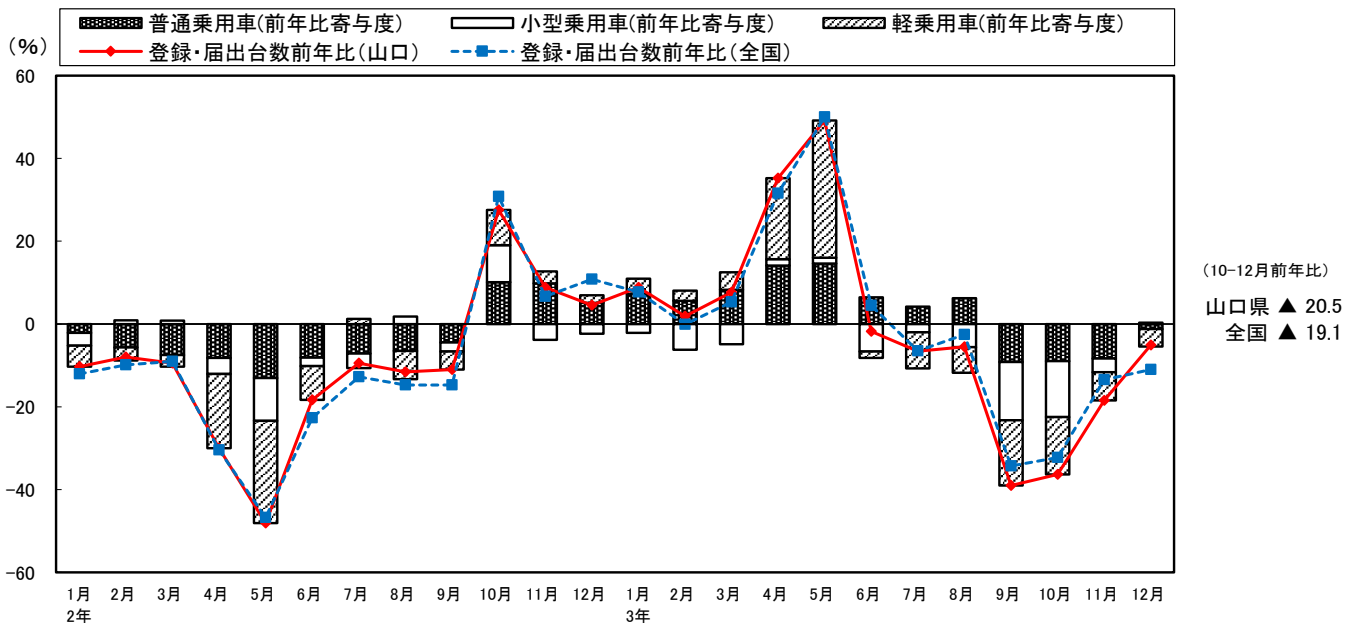
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

#### (5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

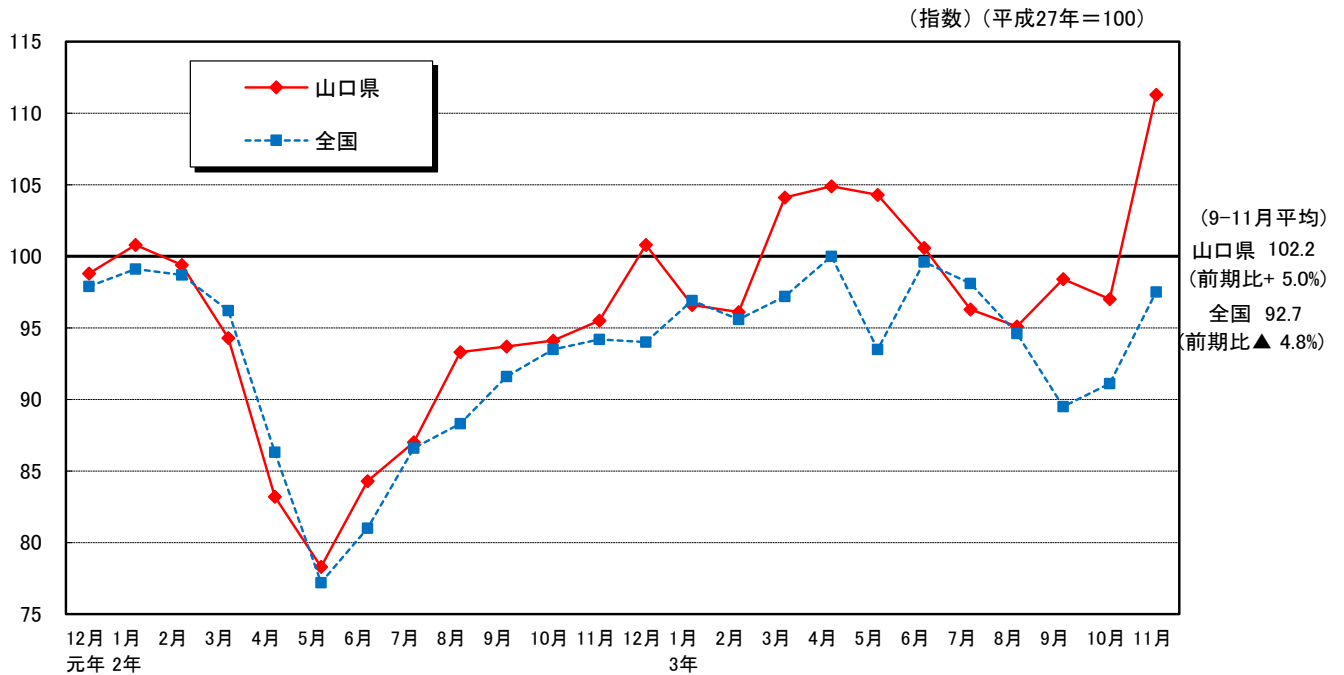
#### (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



(資料出所: 中国運輸局)

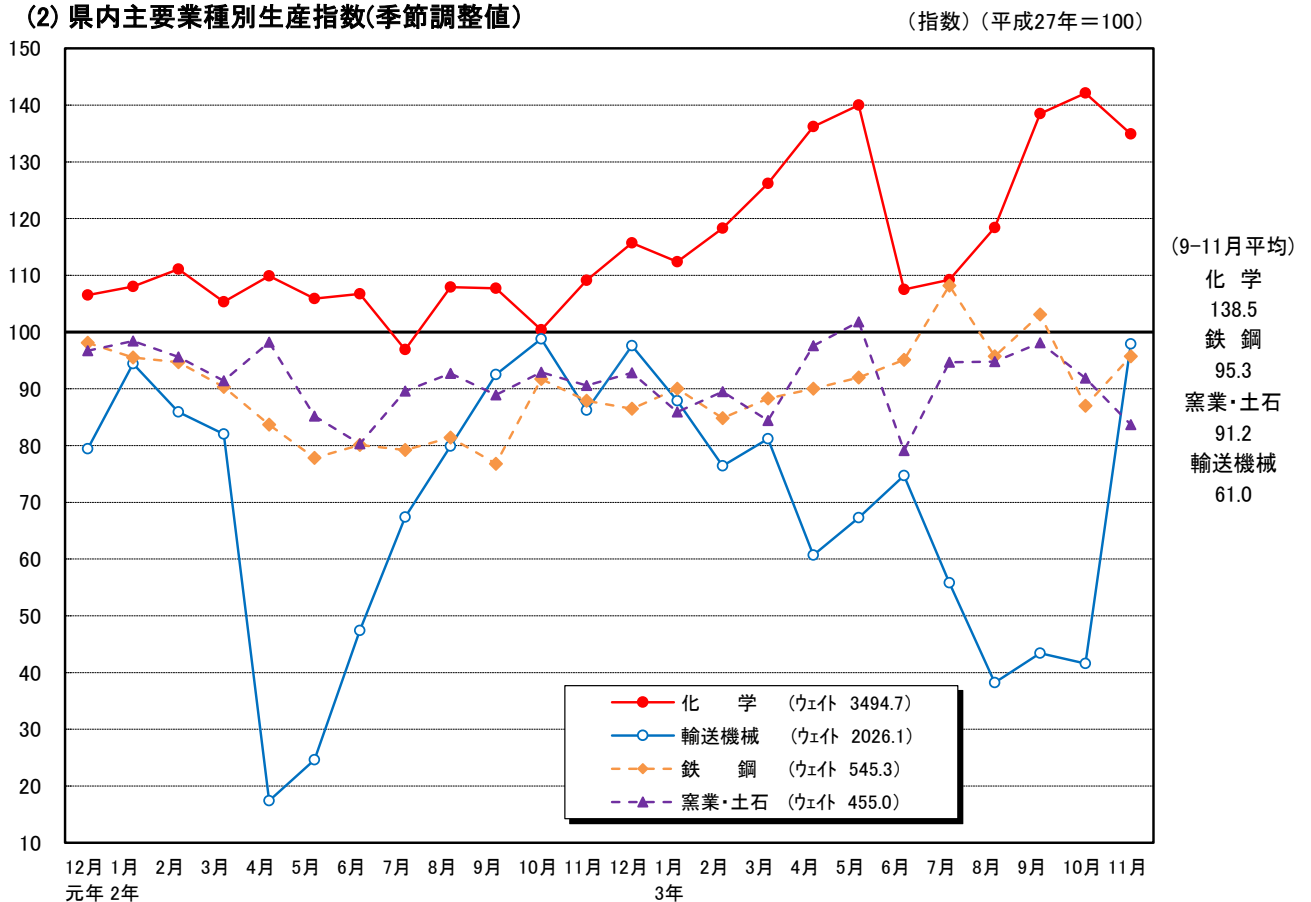
## 2. 生産活動 持ち直している

### (1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(資料出所: 経済産業省、山口県)

### (2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

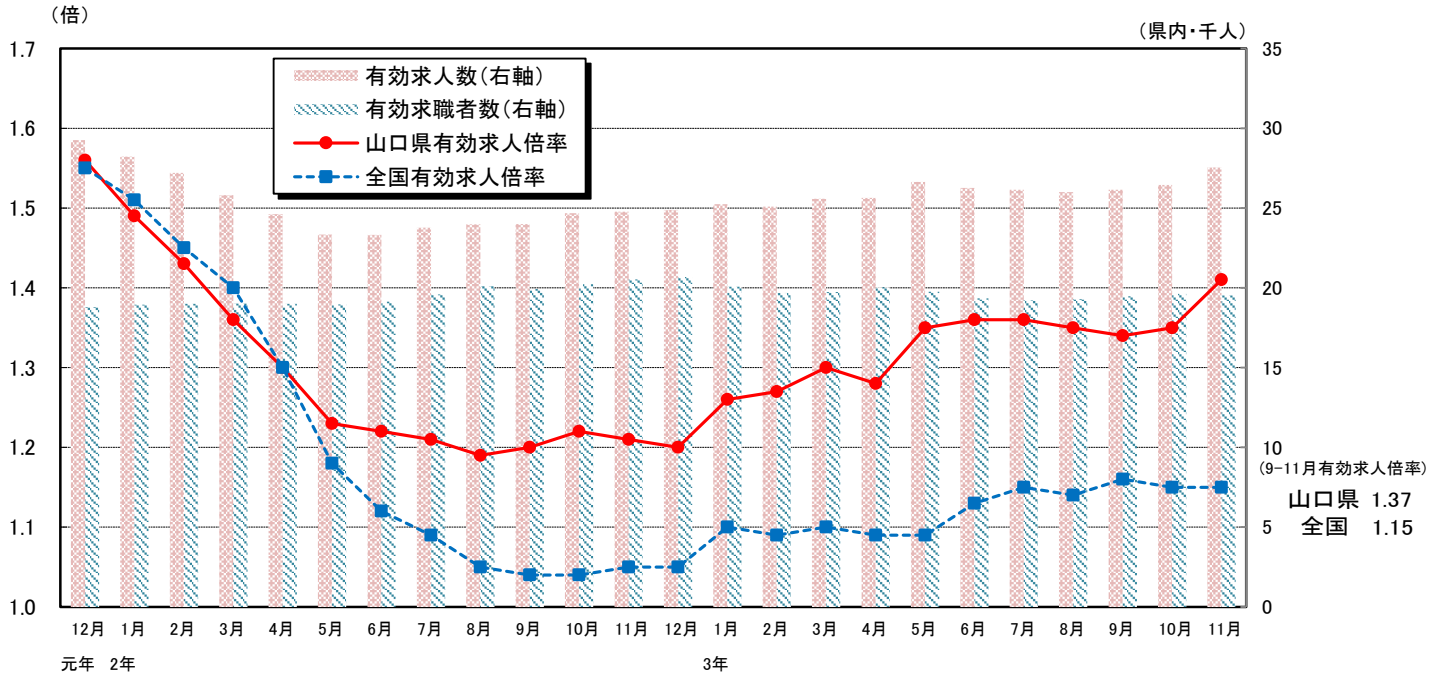


(資料出所: 山口県)



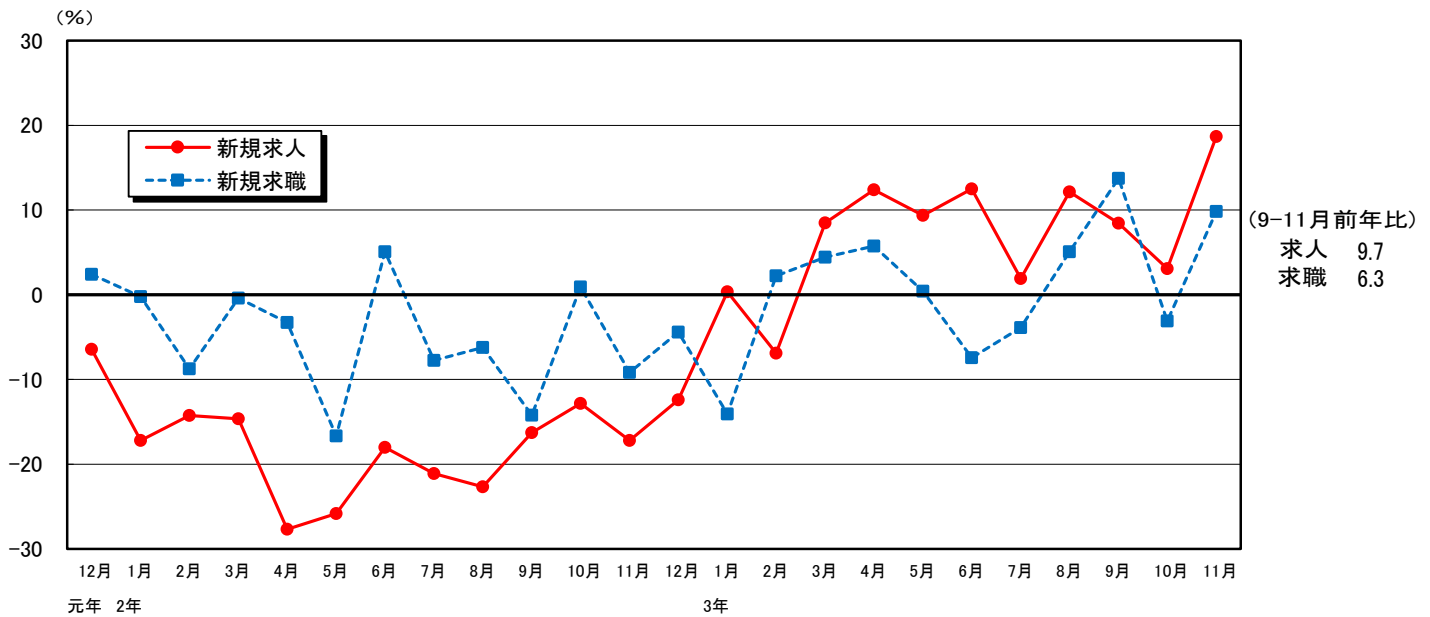
### 3. 雇用情勢 新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

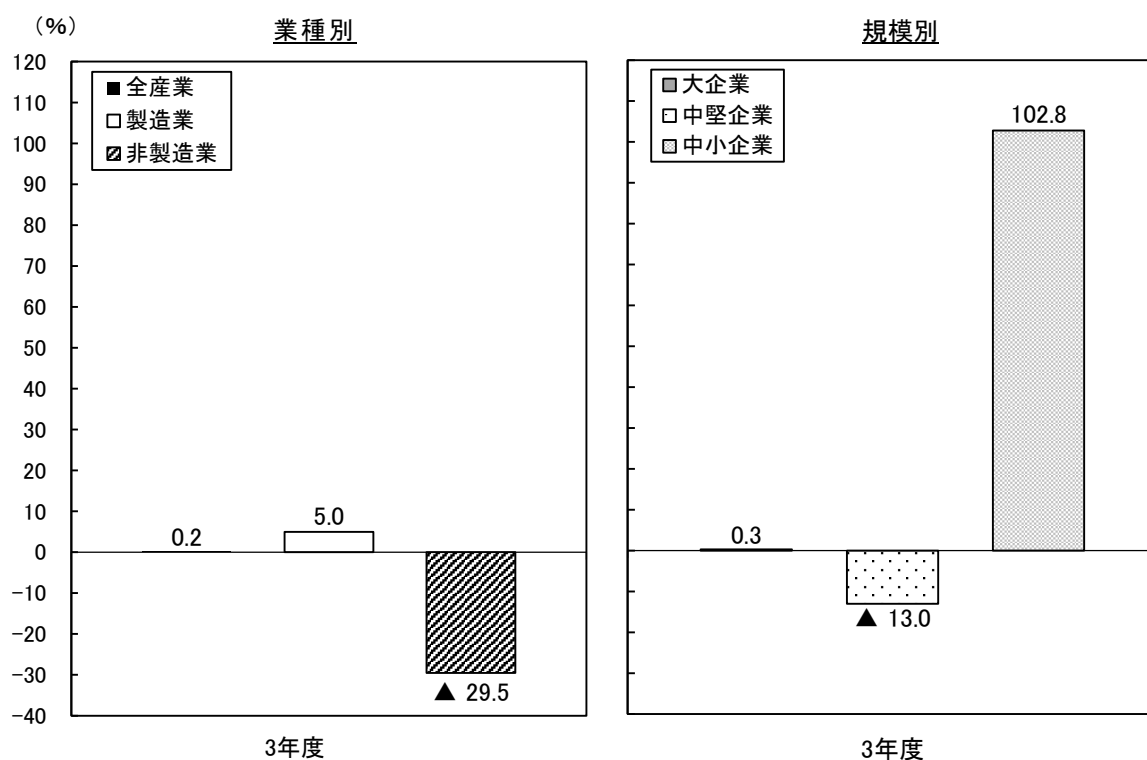
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



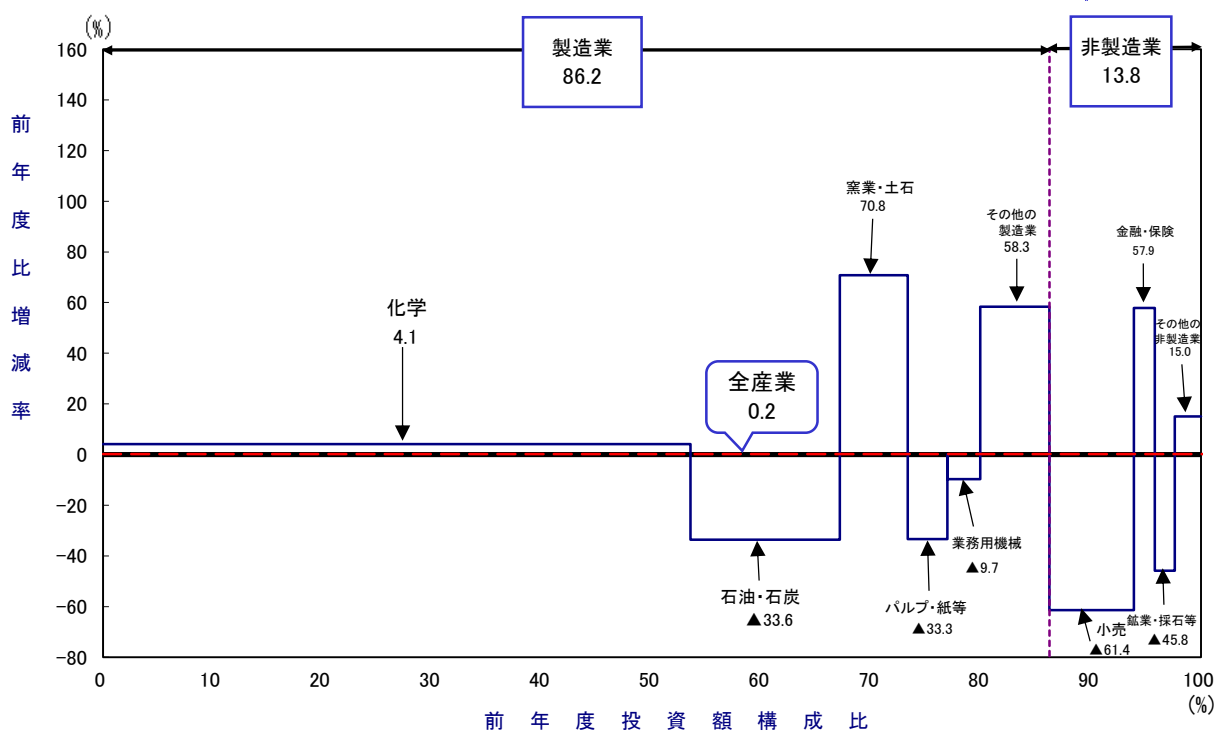
(資料出所:山口労働局)

## 4. 設備投資 3年度は前年度を上回る見込み

### (1) 設備投資額(前年度比)



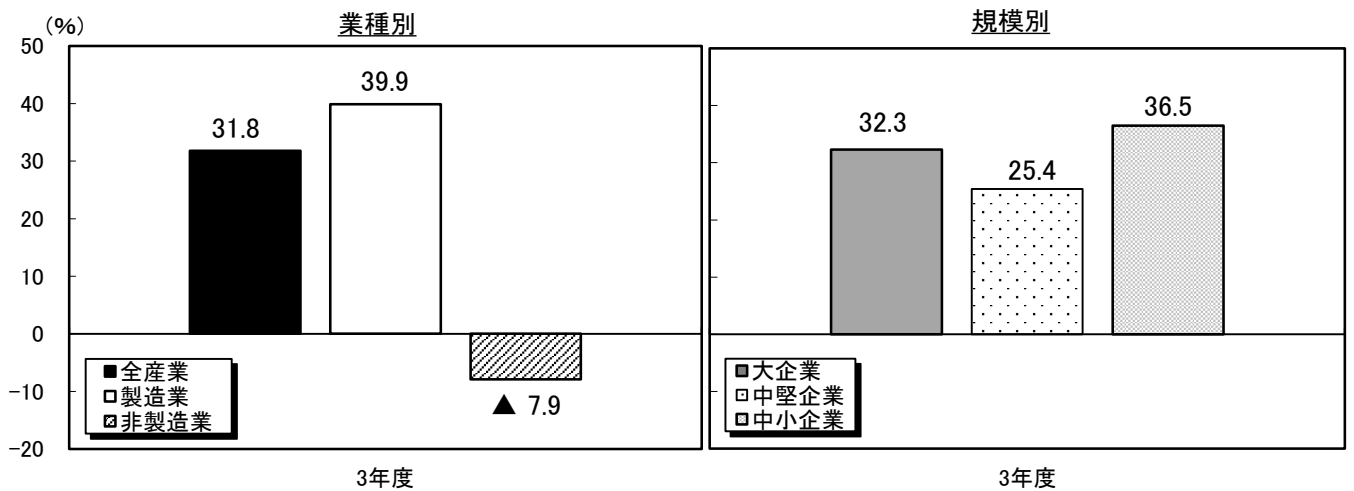
### (2) 主要業種別(3年度)



(資料出所: 山口財務事務所)

## 5. 企業収益 3年度は増益見込み

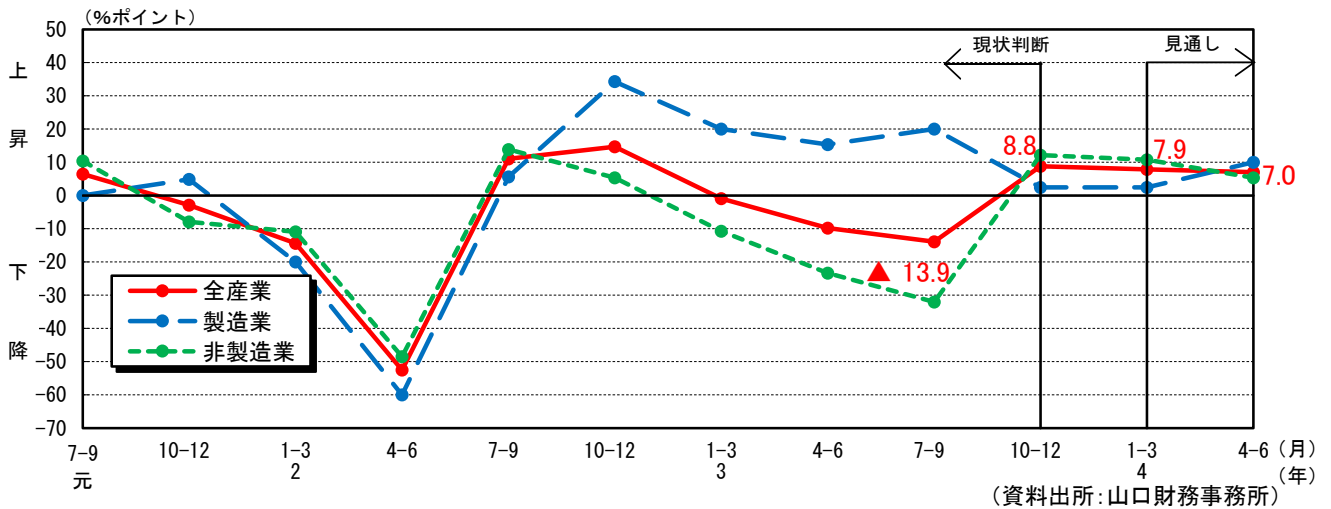
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所: 山口財務事務所)

## 6. 企業の景況感 「上昇」超に転じる

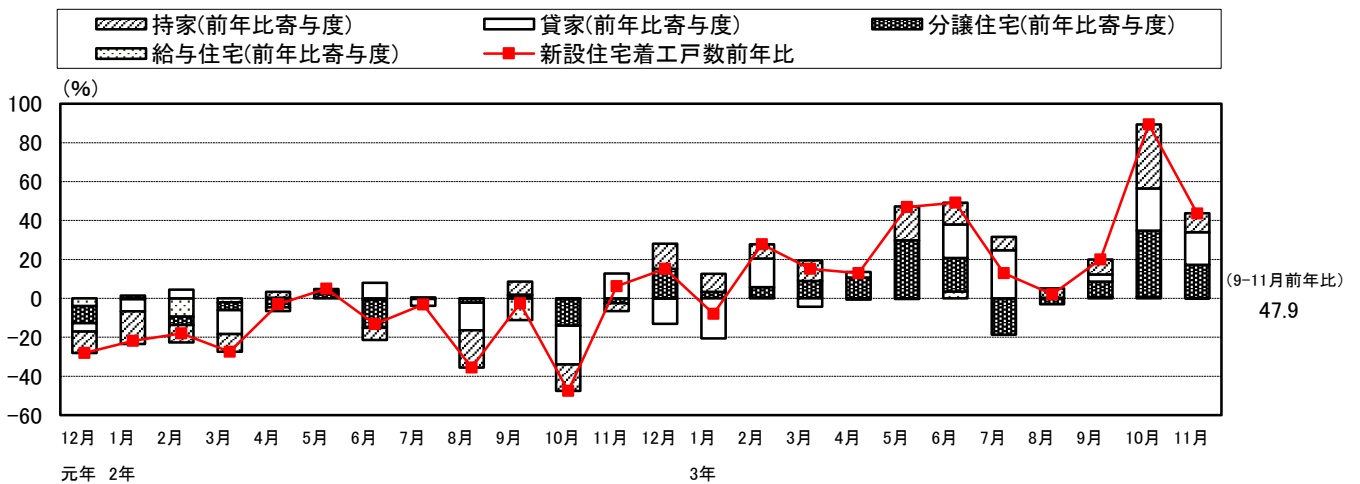
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 山口財務事務所)

## 7. 住宅建設 前年を上回る

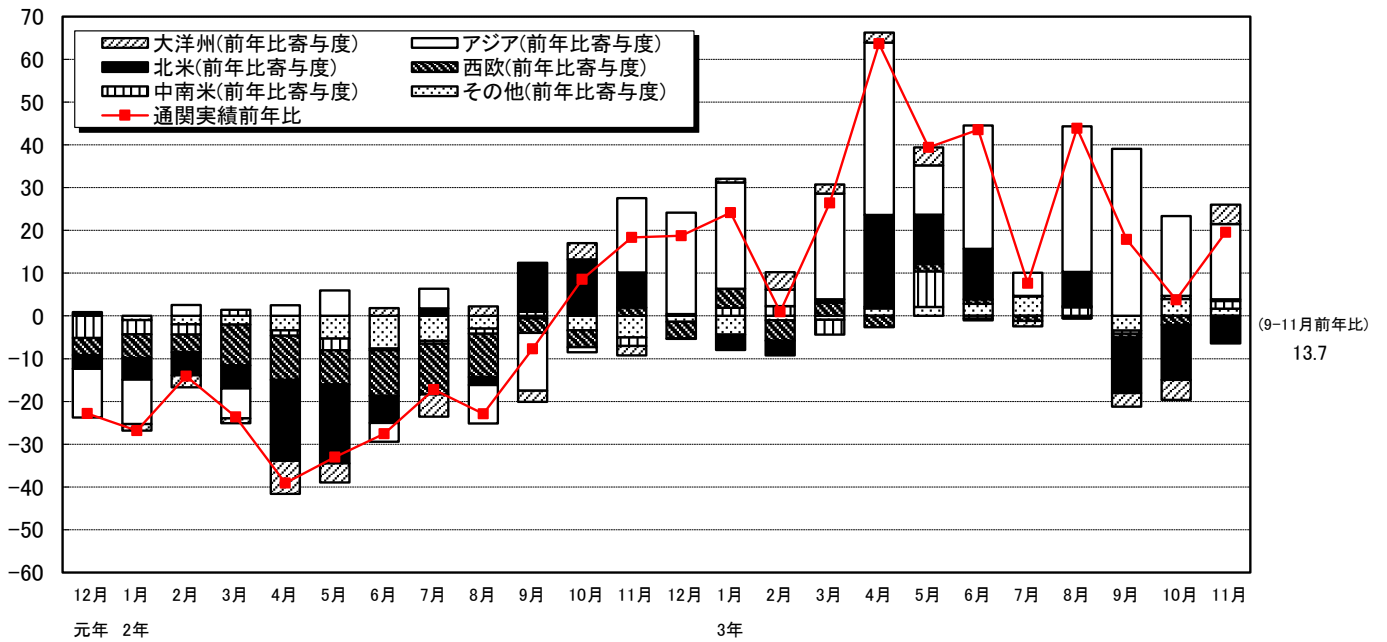
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

## 8. 輸出 前年を上回る

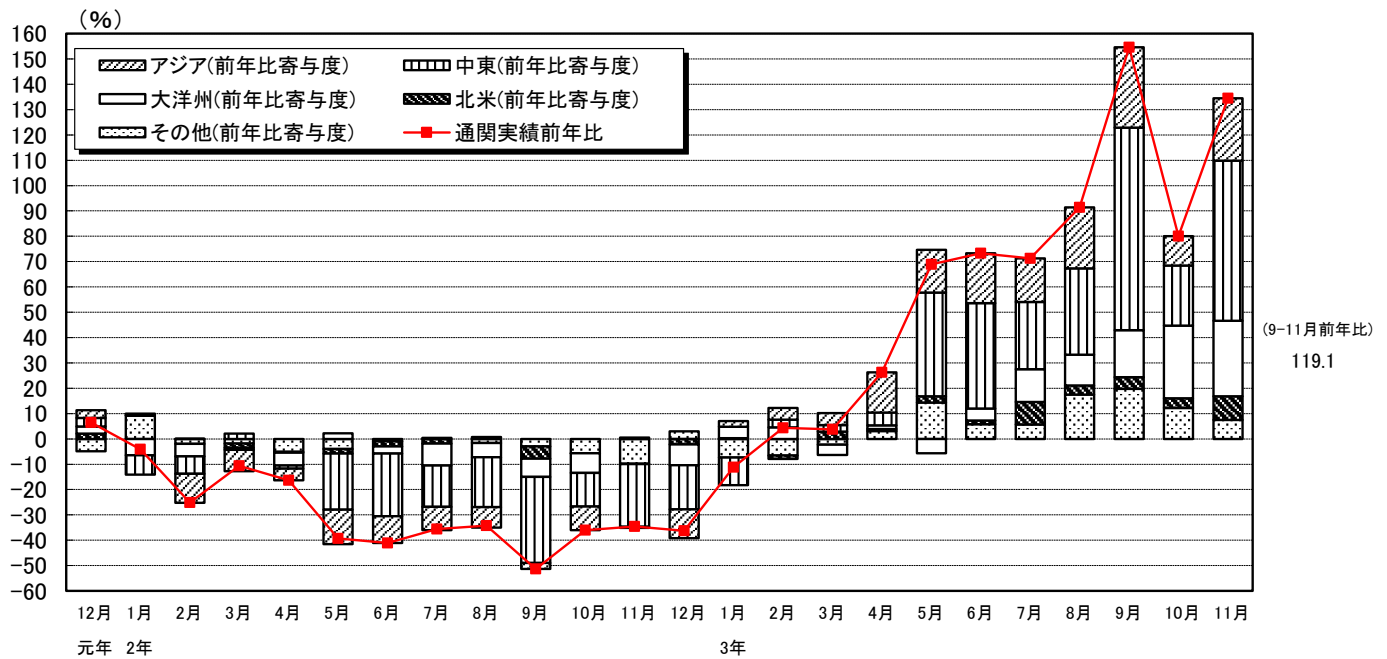
輸出(円ベース)  
(%)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)

### <参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)